

さいたま市議会議員

阪本 かつみ 市議会レポート

【2018. 2月号】

編集・発行： 民進・立憲・無所属の会さいたま市議団 阪本 かつみ

さいたま市議会2月定例会は2月6日からスタート！

さいたま市議会2月定例会は、2月6日から3月16日までの日程で開催されています。今定例会に市長より提出された議案は、補正予算議案15件、新年度予算議案18件、また、条例議案37件、一般議案19件の合計89件です。

平成30年度当初予算につきましては、「しあわせ倍増プラン」、「さいたま市成長加速化戦略」等の計画を推進する予算、本市の将来を見据えた積極的な投資を行う予算、東日本の中枢都市としての地位を確立するための予算、そして、市民の「健幸」を推進するための予算、として編成されています。

少子高齢化の急速な進展や、公共施設の老朽化も進んでまいります。また、社会保障関連経費等の増大により、より財政運営の厳しさも増してまいります。このような課題を克服し、本市が持続的に成長・発展を続けるための大切な時期であることを自覚し、厳しく予算審査に臨んでまいります。



さいたま市議会議員 阪本かつみ

議会運営委員会 委員長
文教常任委員会 委員
大都市行財政将来ビジョン特別委員会 委員

平成30年度 当初予算案の概要

【予算規模】

一般会計	5,545 億円	前年度比	244 億円	4.6%
特別会計	3,087 億円	前年度比	▲285 億円	▲8.5%
企業会計	1,306 億円	前年度比	82 億円	6.7%
全会計	9,938 億円	前年度比	41 億円	0.4%

※全会計予算総額は 9,938 億円となり、さいたま市誕生以来、最大の予算規模となります。

【予算の特徴】

- 次世代自動車・スマートエネルギー特区の継続や地域経済の活性化推進、学校施設の新設・更新、市有施設の維持補修など、積極的な投資を行う予算
- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進など、交通機能強化を図るとともに、東日本の中枢都市としての地位を確立するための予算
- 高齢者が健康で安心して生活できる環境を整えるとともに、出産・育児への支援、教育の充実など子どもたちが明るい未来を築くための少子高齢化に対応した予算

阪本かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみオフィシャル Web サイト」 <http://sakamoto-katsumi.net>

平成30年度 主な新規・拡大事業

○難病の患者が安心して暮らしていける社会に

～指定難病患者への医療費の公費負担～

「難病の患者に対する医療等に関する法律」の大都市特例が施行されたことを受け、指定難病医療給付の支給認定及び医療費の公費負担を実施します。

○赤ちゃんとお母さんの心と体をケアします

～妊娠・出産から育児まで切れ目ない包括支援の充実～

出産間もない時期の産婦を対象とした産婦検診の助成を行います。

また、産婦検診等で支援が必要と判断された産婦に対し、心身のケアや育児をサポートする産後ケア事業を実施します。

○住み慣れた家で健康に暮らすために

～在宅医療と介護の連携～

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、在宅医療と介護サービス事業の連携を推進します。

○地域を支える安心で安定した医療の提供

～市立病院の建て替え整備～

市民が可能な限り地域で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」として、救命救急センターや緩和ケア病棟などの新たな機能を含めた施設を整備し、安心で安定した医療の提供と医療機能の充実及び強化を図ります。

○おもてなしあふれる東日本の顔を目指して

～大宮駅を中心とした都市づくり～

大宮駅周辺の都市基盤の整備を行い、土地・建物の高度化・防災性の向上等を図るなど、さいたま市の顔に相応しい地区として再構築します。

○さいたま市から世界へ飛躍するグローバル人材の育成

～大宮国際中等教育学校の整備～

市立大宮西高等学校のこれまでのグローバル化先進校としての取組を更に充実・発展させるため、県内初の中等教育学校として、市立大宮国際中等教育学校を整備します。

○美園地区のこどもたちを健やかに育てるために

～美園北小学校・美園南中学校の整備～

まちづくりにより人口が増加している浦和美園地区において、児童生徒を健やかに育成するために、美園北小学校、美園南中学校を新設します。